



第1回(平成27年度) 日建連 けんせつ小町活躍推進表彰 受賞内容



優 秀 賞	会社名	株式会社竹中土木		活 動 主 体	名 称
	申請部署	東京本店 工事部 土壌環境グループ			一人の経験をグループの経験として活かす 土壌環境グループ内 チームペア制
女性の活躍推進に資する活動の概要・要約(50字以内)	業務時間に制限のある女性の力を、最大限に発揮できる環境をつくるために考えられた業務の推進方法	活動理由・活動の背景(100字以内)	育児休業から復帰した女性が、限られた時間の中でいかにこれまでと同じように力を発揮できるか、男性女性によらず、一人の経験をグループの経験として活かすことが、今後の人材不足の中では必要となってきました。		
女 性 の 活 躍 推 進 に 資 す る 活 動 の 目 的 、 内 容 、 効 果	目的	こどもを育てることにより、これまでと同じ勤務状況(フルタイム+残業+休日出勤)では仕事ができなくなり、急な欠勤、早退(こどもの病気等)で仕事に少なからず影響が出てくる。 ①業務に対する影響を最小限にし、お客様に対してこれまで通り対応すること、②育児中ではあっても、業務時間においては他の職員と同様に最大限の力を発揮すること、が求められる中で、業務の進め方について再考する必要があった。			
	内容	「グループ内チームペア制」 グループ内において、管理職+一般職のペアのチーム制とし、ペアとなる者は、双方が子育て女性とならないよう組むものとする。また、急な欠勤や早退に対応するため、業務の内容はつねにグループ内の管理職とも共有し、一般職では対応の難しい業務には他チームの管理職が対応する。自分ひとりで抱えている仕事がないよう進捗を報告し、外部とのメールのやり取りも必ずチームのメンバーをCCに入れる。			
	効果	①急な欠勤等で対応できず、相手に迷惑をかけていた業務について、別の者でも対応できるようになった。 ②時間制限により、責任の少ない業務に携わらざるを得なかった者が、より責任のある業務まで対応できるようになり、業務の偏りが減った。 ③これまで個人個人が単独で各業務に対して対応していたが、業務を共有することで、別業務で経験し得た情報を、他の業務にも活かすことができるようになった。			
					